

政 務 活 動 費 出 金 票

No. 1 3

出 金 日	平成 30年 9月 13日																																					
項 目	①調査研究費 ④広聴費 ⑦資料作成費	②研修費 ⑤要請・陳情活動費 ⑧資料購入費	③ 広報費 ⑥会議費 ⑨人件費 ⑩事務所費																																			
摘 用	広報紙作成 及び 市内配布																																					
金 額	103,353円																																					
支出内訳	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">請求書 No. P691259 1頁</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">魚津市議会 民進 (寺崎) 御中</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">とうざわ印刷工業株 〒939-2745 富山市婦中町広田5210番地 TEL(076)466-2711(代) FAX(076)466-3232</p> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">※領収書の発行は、請求書の提出後となります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> <th>単価</th> <th>金額</th> <th>消費税率</th> <th>税額</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>新聞紙類</td> <td>95,696</td> <td>0</td> <td>95,696</td> <td>0%</td> <td>0</td> <td>95,696</td> </tr> <tr> <td>印刷費</td> <td>7,655</td> <td>0</td> <td>7,655</td> <td>10%</td> <td>765.5</td> <td>8,420.5</td> </tr> <tr> <td>送料</td> <td>103,353</td> <td>0</td> <td>103,353</td> <td>0%</td> <td>0</td> <td>103,353</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>206,704.5</td> <td></td> <td>765.5</td> <td>207,470</td> </tr> </table> </div>			品名	数量	単価	金額	消費税率	税額	合計	新聞紙類	95,696	0	95,696	0%	0	95,696	印刷費	7,655	0	7,655	10%	765.5	8,420.5	送料	103,353	0	103,353	0%	0	103,353	合計			206,704.5		765.5	207,470
品名	数量	単価	金額	消費税率	税額	合計																																
新聞紙類	95,696	0	95,696	0%	0	95,696																																
印刷費	7,655	0	7,655	10%	765.5	8,420.5																																
送料	103,353	0	103,353	0%	0	103,353																																
合計			206,704.5		765.5	207,470																																
領 収 書	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: large; margin: 0;">領 収 証</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">No. 028700 平成 30年 9月 18日</p> <p style="text-align: center; font-size: large; margin: 5px 0;">魚津市議会 民進 (寺崎) 様</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">金 額: ¥103353</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">(消費税額等 円含む)</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">但し 広報印刷代金および新聞折込立替料 上記金額を正に領収いたしました。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: small;">とうざわ印刷工業株式会社 〒939-2745 富山市婦中町広田5210番地 TEL(076)466-2711(代) FAX(076)466-3232</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: x-small;"> <p style="text-align: center;">受領者印</p> </div> </div> </div>																																					

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 寺崎 孝洋

教育の質向上 ⇒ 先生の負荷軽減 それには勤務実態把握が必要！

先日、県内の公立中学教師の過労死認定がニュースで報じられています。過去から「英語教育やICT教育など新しい教材や手法が導入されるのは時代の流れで必要なのは理解するが、それを教える先生の負荷が増大することの懸念を議会にて指摘してきました。

補助員・支援員を導入し負荷軽減に取り組んでいますが、その方との打合せに時間が取られ負荷軽減になつてない部分も多々あります。

的確な対応策を打つには次のことが必要ではないでしょうか？

- ① 勤務実態を調査し何が負荷増大の原因となっているかを把握
- ② 教育に格差はあつてはならないということより、国や県が十分な予算措置をする

事態解消の第一歩である実態把握すなわちタイムカード導入について国や県が及び腰であることは大変残念です。

教師の負荷軽減だけでなく、教育の質を高めるためにも実効性のある対策を求めてゆきます。



今後の議会関係予定

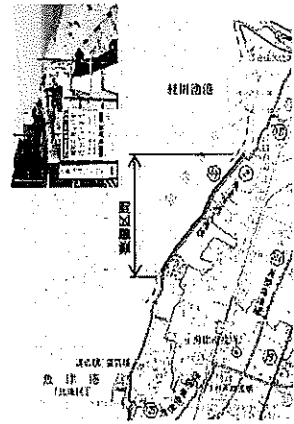
8月	6・7日	公共施設再編特別委員会組織
9日		議会活性化検討会
10日		議員協議会・民生委員会 各派代表者会議
9月	5日	本議会(組織)定例会開会
13・14日		本議会(代表・個別質問)
19日		民生委員会・産業建設委員会
20日		総務文教委員会
25日		本議会(採決) 決算特別委員会 決算特別委員会
10月	9日	本議会(採決)定例会開会

北鬼田 堤防高を4.5mに

一昨年より工事に取り掛かっている、道下地区海岸の堤防高上げ(3.5mから4.5mへ)が進み、仏田の歴気袋ロードパーキング周辺約500mを残すだけとなりました。整備区間全部の完了は平成32年度中を見込んでいます。

多くの費用がかかる事業ですが、住民の生命・財産を守る事に大きく関わることですので県には優先度高めて事業を進めてもらっています。

当分の間、通行に支障をきたしますが、ご理解の程お願い致します。



厳しい財政を認識し 事業検証でスクラップ&ビルドを!

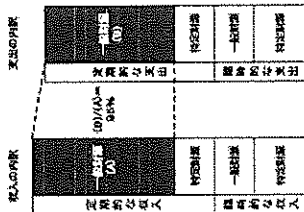
市政だより

発行所 県庁
編集 県庁庶務課
代表 市橋中津
編集 市橋中津
TEL 075-241-3151

経常収支比率9.5% どう乗り切る?

平成30年の予算議案は「公共施設整備を含めた財政見直しを示すよう決議を付して各予算を可決しています。

一般会計では総額181億1千万円の予算でほぼ昨年並みの規模であるが、財政の自由度を表す指標の経常収支比率は9.5%を見込んでおり、これは定期的な収入の内9.5%が市政運営上必要な経費として使われ、自由に使えるお金は5%しか無いということです。



この状態を乗り切るためには、
① 公共施設再編を進め、維持管理経費を削減する。(但し、施設複合化などによりサービス低下をさせない)

② 役所の事業(仕事)を検証・評価し真に必要なことなのかを検討し、また類似した複数部署での事業を兼約・統合を行う。これらについて早急に取り組み、無駄な支出を省くと同時に、市民満足度向上や人口増に繋がる事業にフロンティアを開く必要があります。

議会としても役所に対し「やれやれ」「しろしろ」と言うばかりではなく、議会の立場、議会の視点で事業の検証・評価を行う事が重要です。

今後は、要望を言うばかりの議会ではなく、自らがこの状況を乗り切るための調査研究をより強化し、役所(行政)に対して提案をしていかなければなりません。同時に住民の理解を得る、獲得することも重要になってきます。



経常収支比率とは?

自治体での指標と企業経営での指標は異なり、自治体財政の柔軟性、即ち自由度が高いかを図る指標です。
自治体では数値が小さいほど良くその昔は70~80%が望ましいとも言われておりましたが、平成27年度の全国市町村平均は9.0%です。ちなみに彦根市の30年度の指標(推定値)は9.5%と硬直化財政です。

月 日 曜日



政 務 活 動 費 出 金 票

No. 1 5

出 金 日	平成 30年 11月 21日
項 目	①調査研究費 ②研修費 ③ 広報費 ④広聴費 ⑤要請・陳情活動費 ⑥会議費 ⑦資料作成費 ⑧資料購入費 ⑨人件費 ⑩事務所費
摘 用	市政報告会会場使用料
金 額	10,000円
支出内訳	市政報告会会場使用料 (本新会館) 10,000円
領 収 書	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>領 収 証</p> <p style="text-align: right;">No. _____</p> <p style="text-align: center;">民進、寺崎 様</p> <p style="text-align: center;">* 10,000円</p> <p style="text-align: center;">本新会館使用料</p> <p style="text-align: center;">2018年11月21日 上記正に領収いたしました</p> <p>内 訳</p> <p>領収金額</p> <p>消費税額等(5%)</p> <p style="text-align: right;">本新町内会 </p> </div>

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

承	会派会長印	経理責任者印
認		

氏 名 寺崎 孝洋

市政報告会

魚津市の財政状況について

魚津市議会議員
寺崎孝洋

1

魚津市の財政状況

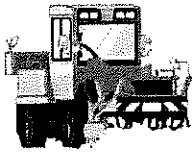
本市では、少子高齢化や人口減少、地域の活性化など喫緊の課題に対応するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の実施や学校新築など教育環境の整備に積極的に取り組んできました。

こうした中、歳入については、社会情勢の変動に伴い市税収入は、平成20年度をピークに徐々に減収となりました。今後も大きな伸びは期待できません。一方、歳出については、社会保障関係経費や老朽化した公共施設等の維持管理費、下水道事業などの特別会計への繰出が増加しています。

2

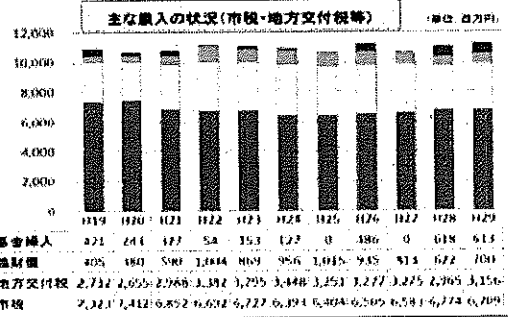
魚津市の財政状況

このような財政状況の中で、平成29年度には大雪による除排雪対策に多額の費用を要したことで財政調整基金を取り崩したため、基金残高は減少し、今後、多額の取り崩しは不可能な状況となりました。



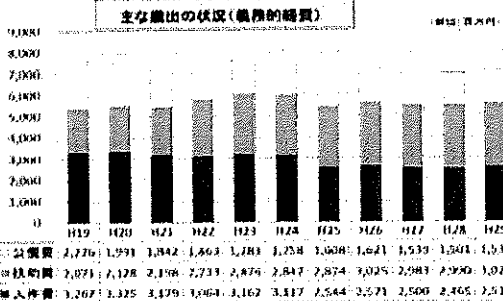
3

魚津市の財政状況



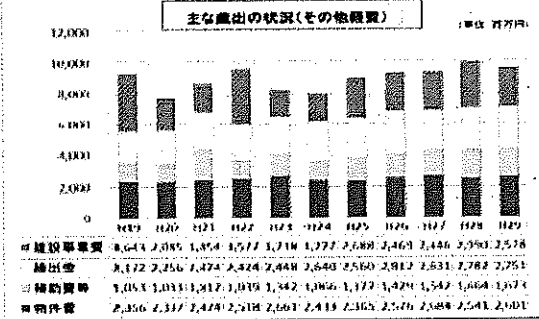
4

魚津市の財政状況

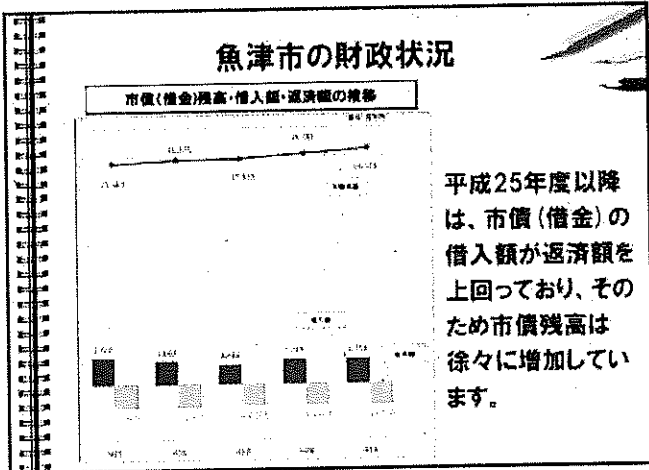


5

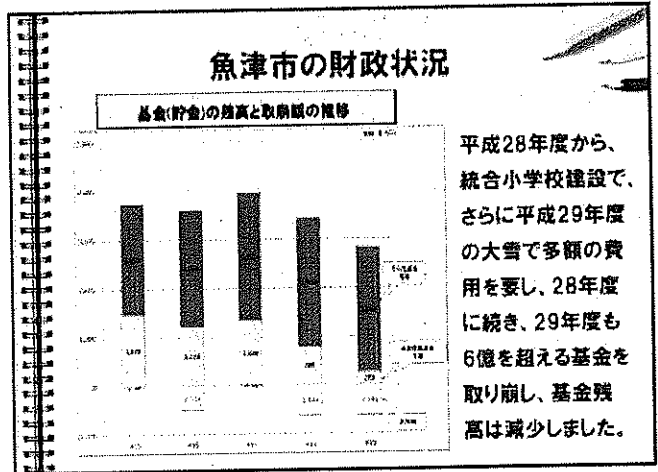
魚津市の財政状況



6



7



8

魚津市の財政状況

財政改善の方向性(取組内容)

平成31年度は基金繰入に頼らない(頼れない)予算

1. 歳入の確保
 - ☆ 市税収納率の向上 ⇒ 効果額見込み +4百万円
 - ☆ 公有財産(土地)の処分による収入 ⇒ 効果額見込み +40百万円
 - ☆ 使用料・利用料の見直し ⇒ 効果額見込み +3百万円
 - ☆ 独自財源の確保の継続 ⇒ 効果額見込み +20百万円
2. 経費の削減
 - ☆ 予算の一部について執行制限を設ける ⇒ 効果額見込み ▲50百万円
 - ☆ 事務事業の見直し(一般財源10%削減) ⇒ 効果額見込み ▲150百万円
 - ☆ 施設のあり方見直し(福祉センターほか) ⇒ 効果額見込み ▲22百万円

9

魚津市の財政状況

財政改善の方向性(今後見込)

平成31年度以降も同様な取り組みを行い、基金(蓄え)に頼らない予算編成が出来るよう市財政の体質改善を行う。

基金からの繰入額推移表(H31以降は見込) 単位:百万円

年度	H30実績	H31見込	H32見込	H33見込	H34見込	H35見込
基金からの繰入額	551	130	120	40	70	0

10

魚津市の財政状況

財政改善の方向性(まとめ)

魚津市では、今まで歳出が歳入を大きく上回る状態が続いていたため、財政調整基金だけでなく一部の特定目的基金も財源不足に充当することで、予算を組んで来ました。

この状態が続けば、いずれ基金が減少し予算を組むことが、さらに難しくなります。事業のスクラップ&ビルドを徹底し歳出を削減・抑制する一方で、国庫補助金や独自財源の獲得によって、歳入を増加させることができれば、財源不足は徐々に減少します。

また、災害や大雪等の緊急事態やH34年度以降に増加する公債費(借金返済)の支出に備えるために、財政調整基金や減債基金等へ積み立てる必要があります。

35年度を目途に・・・基金からの繰り入れに頼らない予算編成(財政調整基金や減債基金等に預立)

11

魚津市の財政状況

おわり

12